

タクロリムス		841000			
		担当部署			
タクロリムス		生化			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダー手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→薬物→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15~16 : 00(平日) 8 : 15~12 : 00(休日)			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		トーフ、ピークなどの指示がある場合は、指示通り			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1 全血	1 紫 薬物用	EDTA-2K	2	mL	
2 -	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	
7 -	-	-	-	-	
8 -	-	-	-	-	
検体搬送条件		冷蔵			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体 5)凝固検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	ng/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>タクロリムスは FK506 とも呼ばれ 1985 年に筑波山麓の土壤中から発見された放線菌の一種である <i>Streptomyces tsukubaensis</i> から精製・単離されたものである。</p> <p>本剤は基本的にはシクロスポリンと同じ免疫抑制作用をもつ薬剤と考えられるが、より T 細胞機能を選択的に抑制するといわれる。</p> <p>一方、NK 細胞活性や ADCC 活性、マクロファージ貪食能への抑制作用はもたない。</p> <p>また、急性拒絶反応が T 細胞の活性化により起こること、本剤が T 細胞活性化を強力に抑制することから、移植時の免疫抑制導入療法の柱となっている。</p> <p>副作用として、腎機能障害、膵機能障害が発現する場合があるので、クレアチニン、クレアチニン・クリアランス、BUN などの腎機能検査や血中アミラーゼ、空腹時血糖、尿等などの膵関連検査を適宜追加する必要がある。</p> <p>なお本剤には、併用禁忌・併用注意の薬剤が比較的多いので注意を要する。また本剤には、剤型として軟膏もあり成人アトピー性皮膚炎の治療にも用いられている。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第 4 版 216,2008</p>				